

中小学校だより

October 31st. 2018 No. 8

自分たちの授業とたくさんの方々に観ていただいた研究発表会

どの学級も、一人の意見を仲間が真剣に温かく聞く姿が見られ、お互いを大切にしていることが分かりました。また、話すのに少し時間がかかってしまった子に対しても、じっと待つ姿もあり、とてもよい雰囲気を感じました。全校の児童が気持ちのよい挨拶をしてくれ、とてもうれしくなりました。小学生の時に付けた力を、中学校でも継続・発展させてほしいと思います。 <研究発表会を参観された方の感想>

10月26日（金曜日）に中小学校の研究発表会を行いました。研究発表会では、全学級が算数の授業を公開して、瑞穂市内外のたくさんの先生方に観ていただきました。

どの学級でも、学習課題についての自分の考えを進んで挙手発言する姿や、仲間の見方や考え方について「付け足し発言」をする姿がたくさんみられました。「〇〇さんに付け足しで…」という発言だけでなく「〇〇さんと方法は同じですが理由は違って…」と子ども達で関わり発言をつなげていく姿も見られ、参観していただいた



方に大変褒めていただけました。研究発表会の週には、5年生や6年生の子ども達が、普段は掃除しないようなところまで丁寧に掃除してくれました。玄関タイルもひざをついて雑巾がけをする姿に、中小学校の子どもの何事にも誠実に取り組むよさを感じました。

2学期に入ってから、運動会のような大きな行事だけでなく、日常生活や授業を大切にすると強い気持ちで頑張ってきたことが、子ども達のすてきな姿となって、多くの参観者の皆様に観ていただけたと思います。

古川前校長先生は「どの学年の教室に入っても、子ども達の集中力、学ぶ姿勢、課題を解決しようとする粘り強さを見ることができました。」とおっしゃられました。中小学校を離れてもなお、中小学校を応援していただけることを感じ、とてもうれしく思いました。

学年の発達段階による差はありますが、自分たちの最高の授業を目指して担任と子ども達がともに取り組んで得られた学級の財産は、運動会以降更に確かなものになりつつあります。

今、一番心配なこと…

今、一番心配なことがあります。それは、登下校中の転倒による怪我です。通学班で歩いている登下校なのですが、班によっては途中で班員と班員の間が大きく開いてしまったために、前に詰めようとして走って転倒した事例もあります。学校では、4月より安全な登下校については繰り返し指導し、通学班の班長さんや副班長さんを中心に頑張ってきましたが、全校児童に対して「小さい子の歩くペースに合わせて歩くこと」を再度指導しました。また、安全に登下校できたかどうかを担当職員と確認をしあうことも約束しました。登下校中の大きな事故につながらないためにも、子ども達はもちろんのこと、地域でも見届けをしていただけると有り難いです。

お知らせ

「なかよし遠足」について

毎年、子ども達が楽しみにしている「なかよし遠足」は、11月6日（火曜日）です。予備日は11月12日（月曜日）例年行われているものと違い、1時間目・2時間目は授業を学校で行った後、10時20分の業間の時間から生津にある「馬場公園」に歩いて出発します。現地では、なかよし班ごとに遊んだりクイズラリーをしたりします。当日及び予備日の昼食は「おにぎり弁当」です。これは家庭教育学級の実組も兼ねていまして、お子さんとともに準備の方をお願いいたします。